



ក្រុមហ៊ុន យ៉ាកុស៊ីនកៃ (ខេមបូឌា) ឯ.ក

YAKUSHINKAI(CAMBODIA)CO.,LTD.

Cambodia Japan Yakushinkai School



YAKUSHINKAI



YAKUSHINKAI(CAMBODIA)CO.,LTD.

Head Office
 No.240 E₁E₂ St.101, Phum 6,
 Sangkat Boeng Trabaek , Khan Chamkar Mon,
 Phnom Penh, Kingdom of Cambodia
 TEL:+855-10-819-789
 HP: <https://yakushinkai-cambodia.com/>
 E-mail: info.cjys.kh@gmail.com

Japan Office
 〒175-0082 東京都板橋区高島平 8-5-10
 MA ビル 1F
 TEL:03-3550-8500
 TEL:080-3606-6475 (送出事業部門連絡先)

会社案内
CORPORATE PROFILE

日本とカンボジア両国の架け橋となり、 カンボジアの発展に寄与する人材育成を目指す

1. 代表者挨拶

医療法人社団 躍心会 理事長 医学博士 高田了也



自分を大切に、人の役に立てる人材を育てたい

医療法人社団躍心会 理事長の高田了也です。
現在東京で5つのクリニックを運営する傍ら、自ら外来診療に携わっております。また聖マリアンナ医科大学形成外科学の講師に就任し、日本の学生の教育にも力を入れています。
カンボジアに学校を作った理由は、内戦を経て学校教育が崩壊したこの国の若者に学ぶ機会を作り、安心・安全に日本の技能習得を学べる環境をサポートしていきたいと思い、学校を設立しました。特異な歴史を辿ったカンボジアだからこそこの遣り甲斐を感じています。両国で活躍できる人材を育てていきたいと思っております。カンボジアと日本の架け橋となれるよう努めていきます。

<略歴>

- 2000年 聖マリアンナ医科大学医学部卒業、第94回 医師国家試験合格
- 2006年 医学博士号取得、聖マリアンナ医科大学形成外科学助教、同大学医学部附属大学病院形成外科主任
- 2007年 高田皮膚クリニック開設
- 2009年 医療法人社団躍心会 高田皮膚クリニック 院長
- 2017年 聖マリアンナ医科大学形成外科講師

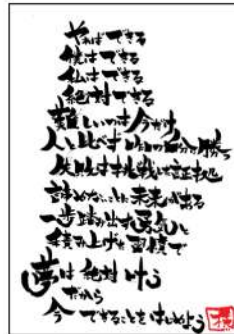
YAKUSHINKAI(CAMBODIA)CO.,LTD.代表取締役 TOL CHANTHOU (トール チャントウ)



魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えたい

代表取締役のトール チャントウと申します。
私はベトナム国境沿いの貧しい村の出身です。カンボジアの田舎では、勉強したくても満足に学べる環境がほとんどありません。自分と同ような境遇にいるカンボジアの若者たちに、日本という国と出会うことで、技術や知識だけではなく日本人の考え方やモラルも含めて学んでほしいと思います。
日本からは戦後、多くの支援を受けてきましたが、これからはカンボジア人が力を合わせて自立していかなければなりません。
着実に経済発展を遂げるカンボジアの発展に寄与する人材育成を目指していきます。日本の皆様、ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

8. YAKUSHINKAI の学生の心構え (毎日、日本語とクメール語で唱和)



9. 企業としての社会貢献

我々、YAKUSHINKAI は学校運営事業の収入の一部をカンボジアへの支援に充てています。カンボジアの発展に貢献していくことが何よりの喜びです。
2018年から始めた支援活動も少しずつですが、支援の規模も広がってきています。

孤児院支援	高校生への奨学金支援	地方の学校運営費のサポート
 <p>国内の孤児院の運営費のサポートや YAKUSHINKAI の学生を有志で募って孤児院での炊出し活動を実施しています。</p>	 <p>経済的理由で、高校進学が困難な学生に対して選考試験を行い、進学出来るように、生活費のサポートを行っています。</p>	 <p>地方でも安定して一定のレベルの教育が受けられるように地方の学校の運営費のサポートを行っています。</p>

上記以外にも、地方の学生にオンラインで無料の日本語教室を開講して、地方でも日本語を勉強できるように環境作りを行っています。

8. 卒業生の声



<水産加工食品製造会社 (宮城県)>
2019年配属
YENG SARAN (19歳)

この学校に入って、たくさんの知識を得ました。日本語も上手に話せるようになり、日本語以外にも生活習慣なども学びました。また日本人の考え方についても教えてくれました。学校の規則は厳しいですが、とても良いものだと思えます。学校で勉強したのは、とても楽しかったです。

学校は良い仕事を紹介してくれました。これからは日本語の勉強を頑張って続けていきたいと思っています。



<印刷会社 (大阪府)>
2018年配属
ROEURN CHANNCHESDA (23歳)

この学校に入る前は、日本語も全然分かりませんでした。でも、今では日本語も話せるし、漢字も読めるようになりました。カンボジアでは、あまり信頼できる送り出し機関(日本語学校)が少ないです。私も以前は別の学校で勉強していましたが、YAKUSHINKAIのことを知り、この学校に入学を決めました。

日本人の先生とカンボジア人の先生が丁寧に教えてくれて、安心して勉強することが出来ました。そして、日本の会社採用されることになりました。

9. 受入企業様の声



<ビルクリーニング会社 (東京都)>
2019年4名、2022年9名、2023年10名受入れ

カンボジア人実習生たちがいつも笑顔で大きな声で挨拶してくれているので、就業場所のお客様からも大変好評をいただいています。1期生を軸にして、今後も計画的にカンボジア人実習生の受入れ企画を進めていくことが出来ます。どこの国の実習生が良いかどうかではなく、YAKUSHINKAIの実習生が良い、と感じています。



<総業製造会社 (新潟県)>
2019年実習生 4名受入、2023年2名受入れ

当初は、ベトナムとカンボジアのどちらから実習生を受け入れるか悩みましたが、将来性を考えて、カンボジアに決めました。

YAKUSHINKAIの学生は、学生たちも魅力があり、真面目に頑張っている学生ばかりだったので、どの実習生を合格させるか、本当に頭を悩ませました。来年も採用面接に行くのが楽しみです。

YAKUSHINKAI 日本カンボジア学校 学校長 松倉 洋海



三方良しの精神で教育事業を通じた社会価値創出

カンボジアやこの国の人々に魅せられて、カンボジアに骨を埋める覚悟で教育事業に従事してきました。苦難の歴史を辿ったカンボジアで、「自分に何ができるのか」「教育で何を伝えられるか」を常に模索してきました。

海外人材の韓国を続けてきた日本が、ようやく重い腰を上げて、海外人材受入という名の開国が始まり、新時代が到来しました。外国人材との共存共栄は、日本を含めた先進国の大きな課題です。

私がこの国で目指すのは教育事業を通じた社会価値の創出です。三方良しの精神で、我々の会社やカンボジア人実習生だけでなく、受入企業様、両国の社会(世間)にとって、より良い事業となり、両国の架け橋となるように努めていきます。宜しくお願いします。

<略歴>

2006年 カンボジア移住、プノンペン大学外国語研究所にてクメール語を学び、在カンボジア日本人会事務局を2007年より2年間務める
2009年 公益財団法人 CIESF カンボジアオフィス事務局長を務める
2017年 現職

2. 会社概要

設立	2016年10月19日
認可	カンボジア労働訓練省、公益財団法人国際研修協力機構(JITCO) 認定機関
事業内容	海外人材派遣
ライセンス	286/22 Kor.Bor.Brur.Kor.MOR.Hor
代表者	代表取締役 トオル チャントゥー、学校長(駐在) 松倉 洋海
資本金	40万ドル(4,400万円)
従業員	13名(2023年1月時点)
所在地	No.240, E.E.E., Street No.101, Phum 6, Sangkat Boeung Trabaek, Khan Chamkar Morn, Phnom Penh, Cambodia.
TEL	+855-10-819-789 (クメール語)、+855-89-885-001 (日本語)
E-mail	h.matsukura.cjys.kh@gmail.com (日本語)、info.cjys.kh@gmail.com
HP	https://yakushinkai-cambodia.com/
関連組織	医療法人社団 羅心会(首都圏で12のクリニックを運営)の子会社 理事長 医学博士 高田 了也

3. 学校設立理由

NGOを通じてカンボジアの支援していくだけでは、カンボジアの発展は成し遂げられません。

彼らが自立するためには、私たちに何ができるかを真剣に考えました。

内戦を経て他国よりも貧しく、高度人材が不足し、優秀な人材を育成するための教育環境が整っていないカンボジアで、現地での教育環境と日本で働く機会を作るための学校の設立が必要だと考えました。

人から物をもたらすのではなく、自分たちが仕事を通じて、自ら稼ぐことを学べる学校を作ることが自立への第一歩だと考えて、カンボジアに学校を設立しました。

現地の若者が頑張るに手に入れた技術と経験の先に、国を発展させる多くの可能性があります。

4.カンボジア概況

国名	カンボジア王国
面積	181,035 平方メートル
人口	1,671 万人 (2021 年)
民族	クメール族 90%、ベトナム人約 5%、その他 5%
言語	クメール語
宗教	上座仏教(96.93%)、イスラム教徒(約 5%)
政治	立憲君主制
元首	ノロドム・シハモニ国王
首相	フン・セン首相 (カンボジア人民党)
時差	日本より 2 時間遅れ
気候	熱帯モンスーン気候 (年間平均気温 27.6 度)
通貨	リエル (米ドルも流通)



5. 研修カリキュラム

社会人として必要とされる訓練を行うことで、日本語教育だけではなくプラスαを身に付けた人材を育成します。
日本企業が求める人材を育成するために、カンボジア人に合わせた研修を行うことで、成長率を高めます。

カリキュラム: (学習期間: 5-12 カ月)

期間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月				
日本語	日本語基礎 ・ひらがな、カタカナ ・簡単な漢字 ・挨拶、自己紹介				*NS 挑戦レベル 基本文法・基本語彙 ・初級会話 ・簡易作文				日本語実践 ・応用文法・語彙 ・日常会話練習 ・毎日の日記				*N4 挑戦レベル ・スピーチ練習 ・専門用語			
マナー・マインド	基本動作とモラル ・校則・寮生活の規則、モラル教育 ・基本動作 (挨拶・表情・姿勢) ・失言防止教育				社会人マインドの育成 ・報告、連絡、相談 ・責任感、忍耐 力 ・チームワーク (異同作業)				コミュニケーション ・SS(整理、整頓、清潔、清掃、) ・KAIZEN (改善)							
目標意識	目的意識の種付け ・なぜ日本に行くのか? ・時間の管理				目標計画作成 ・お金の管理 ・貯蓄計画				キャリア計画							
目標	運動 (ラジオ体操・体力づくり) 百マス計算、針の糸通し、豆摺り、間違え探し、日本語の歌 掃除、食事作り															
期間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月				
  																

6. 研修の特徴

<YAKUSHINKI の学校で学ぶ 8 つの特徴>

- 1 研修期間は技術や知識だけではなく、基本動作の備わった人材育成
- 2 日本語だけではなく日本文化・生活習慣の理解を深める
- 3 全寮制で集団生活や協調性を学び、1日8時間授業
- 4 厳しい学校生活・寮生活のルールを順守し、規律性を高める
- 5 カンボジア人教師だけでなく日本人校長始め、日本人講師からも学べる
- 6 宿題や課題も多く、忍耐力と計画性、目標達成意識を高める
- 7 自主学習を推奨し、学習習慣の基礎を養う
- 8 明るく元気で素直な人間の育成

7. カンボジア人とは?

<プラス要素> = 後付け出来ない人間性と要素

- 1 いつも笑顔で愛嬌がある、温厚で従順な性格
- 2 働き盛りの若い労働力 (平均年齢 24 歳)
- 3 信仰心が強く真面目
- 4 家族想いで年長者を敬う
- 5 親日の国民性



<マイナス要素> = 教育次第で改善が可能

- 1 のんびり屋
- 2 打たれ弱い
- 3 自分の非を認めるのが苦手
- 4 整理整頓が苦手
- 5 報告・連絡・相談が苦手

マイナス要素は全て教育で改善が可能、学校で責任を持って教育

